

MEMSパークコンソーシアム 平成25年度活動報告及び決算報告



MEMS EXPO 2013



iCAN 13国内予選



仙台マツ叶/国際フェア 2013

平成25年度の活動方針(平成24年度総会決定)

【活動方針】

これまで行ってきた情報発信・人材育成・技術相談・ネットワーク活動等を更に充実し、特に**会員企業相互の効果的な情報交換システムの構築を図ります**。iCAN国内予選の開催、世界大会参加に加え、**世界大会の誘致により若手人材の育成に一層力を入れる**ほか、**EnOcean Allianceをはじめとした提携団体との連携**を深化させ、プロジェクト創成などに結びつけていきます。

①情報発信事業

MEMS集中講義や他機関との連携による効果的なセミナーを実施し、MEMS技術の高集積化や複合化を積極的に促すとともに、WEBサイト、メールマガジン、Twitter等の広報ツールを活用し、会員企業への情報発信の更なる充実、**会員企業相互の効果的な情報交換システムの構築**を図ります。

また、東北6県の公設試や企業と連携の上、ナノ・マイクロビジネス展及びセミコン・ジャパンへの出展を継続し、東北地域のものづくりネットワークを広くアピールします。

②人材育成事業

昨年度に引き続き、基礎講座・設計実習・試作実習とも希望に応じて実習開始時期を通年とし、より企業ニーズに即した形で会員企業等が自ら企画したデバイスの試作実習ができるよう、人材育成事業を実施します。

また、次世代のMEMS技術を担う若い人材を育成するため、iCAN'13国内予選の開催及び世界大会への参加、及び**iCAN'14世界大会の仙台開催誘致**により、高校生から大学院生等をターゲットにした人材育成に力を入れていきます。

③技術相談事業

展示会での技術相談のほか、WEBや技術相談メーリングシステムによるネットワークを有効に活用して迅速な課題解決を図ります。

④ネットワーク活動

セミナーと連動した交流会の実施により、会員同士、講師の方々との情報交流を促進し広範なネットワーク形成を支援します。

⑤MEMS関連産業の集積を促進するプロジェクト創成の検討

昨年度に引き続き、MEMSに親和性の高い分野をテーマとした「〇〇×MEMS」マッチングフォーラムを開催し、異分野融合のためのマッチングの機会を増やすとともに、**EnOcean Allianceをはじめ、提携関係にある団体と会員企業との連携を深化**させ、新規プロジェクト創成に向けた支援を行います。

⑥MEMSショールームの運営

各種展示物のアップデートにより最新情報を発信していくほか、試作コインランドリや近代技術史博物館との相乗効果により仙台地域におけるMEMSの拠点性をアピールします。

平成25年度の活動実績(情報発信事業①)

MEMS PARK CONSORTIUM

MEMSパークコンソーシアム活動のご案内(平成25年度)

MEMSパークコンソーシアムとは

産学官の連携により、国内外の研究開発機関等の支援組織とのネットワークを構築し、MEMSを中心としたマイクロデバイス分野の研究開発・産業化促進を行っています。具体的には、情報共有・会員相互・支援機関等とのネットワーク構築支援のための交流会、技術相談事業を実施するとともに、MEMS分野の技術開発を担う人材の育成を行います。

平成25年度活動予定

- 1. 仙台 MEMS ショールームの運営**
仙台市泉区から、東北大学西澤潤一記念研究センター内に移設された仙台MEMSショールームの運営を、東北大学・フロンティア日本代表部・仙台市とともに共同で行います。リニューアルされたショールームでは、東北大学におけるMEMS研究の歴史や、各研究室における最先端の研究内容のほか、海外研究機関や仙台地域のMEMS関連企業の研究開発成果などを展示し、仙台地域のみならず世界のMEMSの歴史や最新技術、特に研究機関から実用化に至る流れを確認いただけます。

- 2. MEMS集中講義(人材育成のためのMEMS集中コース) in つくば**
東北大学等のMEMS研究者がマイクロマシニングの基礎理論からアプリケーションへの応用など、3日間集中的に講義を行います。
開催日：2013年8月7日(水)、8日(木)、9日(金)
場 所：筑波大学 春日キャンパス 図書
参加費：無 料(参加者には講演資料・講演データを差し上げます)
- 3. MEMS Engineer Forum 2014**
MEMS技術の研究者、開発者、エンジニアを多数誘致し、各種装置・ツール提供者とユーザーとの様々な課題を実務レベルで検証するセミナー・展示会を開催します。
開催日：2014年3月11日(水)、12日(木)
場 所：KFCホール(両日)
- 4. MEMS関連産業の振興を促進するプロジェクト創成**
MEMS技術を活用した付加価値の高い新製品の開発が期待される分野にテーマを絞ったフォーラムを開催し、異分野統合のためのマッチングの機会を増やすとともに、提携関係にある団体と会員企業との連携を強化させ、新発プロジェクト創成に向けた支援を行います。
- 5. 展示会への出展**
ナノ・マイクロビジネス展、セミコン・ジャパン2013への出展を行います。
- 6. 会員相互の情報交換・ネットワークの場の提供**
各種情報発信・広報ツールを活用し、会員企業相互の効果的な情報交換を促進するとともに、会員企業相互・講演者等とのネットワーク構築、情報交換を行うための交流会を実施します。
- 7. MEMS人材育成事業**
I. MEMS人材育成事業 〇に該当しないいつでも受講が可能です。
●基礎知識：東北大学講師によるe-learningによるMEMS開発に必要な基礎知識を学習できます。(無料)
●設計実習：専用のソフトウェアを用いてデバイス解析、プロセス設計等を学んでいただけます。(有料)
●製作実習：4インチのプロセスラインを用い、マンツーマンに近い指導で、装置の原理・使い方の、プロセスのノウハウを学習します。受講生の指導に専念(試作を希望するMEMSデバイス)を持ち込んでいただく上で、「設計→試作→評価→発表」に取り組むことにより、MEMS開発者として必要な技術を体系的に学んでいただけます。(有料、若干名)
II. 国際ナノ・マイクロアプリケーションコンテスト(iCAN)
iCANは、MEMSデバイスを用いたアプリケーションを提案し、試作した成果を競う国際コンテストです。対象は、高校生、高専生、専門学校生、大学生、大学院生のチームです。世界各地の国と地域で予選を行い、各国・地域の代表チームによる世界大会が行われます。コンテストの運営を通して、将来のものづくりを担う若手技術者の育成を図ります。
- 8. 技術相談事業**
MEMS技術の研究開発・産業化を推進する上で障壁となっている課題について、東北大学・東北右衛門公認試験・行政機関等で構成される技術相談メーリングシステムなどを活用し、大学教授等シブズ会員、提携会員となる産業界支援機関、その他民間ファウンダリー企業との連携を行い、会員企業様の課題解決の支援を実施し、国際競争力のある新たなMEMSデバイスやMEMSアプリケーション開発を促進します。

MEMSパークコンソーシアム事務局

東北大学西澤潤一記念研究センター内
〒980-0845仙台市青葉区荒巻字青葉5-19-1176 TEL: 022-305-2351 FAX: 022-305-2352
E-mail: memspc@mems.mech.tohoku.ac.jp ホームページ(<http://www.memspc.jp>)

【情報発信事業】

- MEMS集中講義、マイクロシステム融合研究会、など様々な切り口での公開セミナーの開催。(7回)
- ナノ・マイクロビジネス展、セミコンジャパン2013等への出展。
- MEMSPCニュースの配信(一般向け11回(526部発行/回)、会員向け31回)
- MEMSパークコンソーシアム広報チラシ(活動案内)の作成。
- MEMSパークコンソーシアムホームページによる各種イベント等の広報。
- YouTubeによるiCAN'13国内予選の概要報告。
- Twitter!による各種イベントの案内、開催報告。(ツイート数:19回)

平成25年度の活動実績(情報発信事業②)

■ 人材育成のためのMEMS集中コースinつくば (MEMS集中講義)

日時:平成25年8月7日～9日

場所:筑波大学 春日エリア 春日講堂

参加者数:110名

江刺教授をはじめ、東北大学のMEMS研究者等により、MEMS技術の基礎的知識から応用展開まで、様々な角度からMEMS技術に関する情報提供を行いました。



■ 仙台マイクロナノ国際フォーラム2013

日時:平成25年10月31日～11月1日

場所:仙台サンプラザ

参加者数:152名

東北大学、フラウンホーファー研究機構の研究者や企業技術者の皆様から、マイクロナノ分野における最新技術について講演いただきました。



(平成26年3月11日現在)

公開セミナー 開催実績				
区分	日時	内容	会場	参加者数
公開セミナー	平成25年5月16日(木)	第9回マイクロシステム融合研究会	東北大学西澤潤一記念研究センター内 仙台MEMSショールーム	80
	平成25年8月7日(水) ～9日(金)	人材育成のためのMEMS集中コースinつくば(MEMS集中講義)	筑波大学 春日エリア 春日講堂	110
	平成25年9月12日(木)	第10回マイクロシステム融合研究会	東北大学西澤潤一記念研究センター内 仙台MEMSショールーム	110
	平成25年10月23日(水)	MEMSPC講演会	東北大学マイクロ・ナノマシンング研究センター3階 セミナー室	40
	平成25年10月31日(木) ～11月1日(金)	仙台マイクロナノ国際フォーラム2013	仙台サンプラザ	152
	平成25年11月15日(金)	MEMSPCセミナーinメッセナゴヤ2013	ポートメッセなごや	20
	平成26年1月9日(木)	第11回マイクロシステム融合研究会	東北大学西澤潤一記念研究センター内 仙台MEMSショールーム	85

平成25年度の活動実績(情報発信事業③)

■ ナノ・マイクロビジネス展への出展

日時:平成25年7月3日～5日

場所:東京ビッグサイト

来場者数:112名

MEMSパークコンソーシアムの活動内容及び東北6県公設試のMEMS関連技術に関する取組みについて紹介、技術相談等を行うとともに、東北地域において強固に構築されている支援ネットワークをアピールしました。

■ メッセナゴヤ2013への出展

日時:平成25年11月13日～16日

場所:ポートメッセナゴヤ

来場者数:199名

東北地域のMEMS/微細加工技術と関東・中部地域のものづくり企業とのビジネスマッチングを目的として、昨年に引き続き上記展示会に出展し、東北地域の強みであるMEMS/微細加工技術をアピールしました。

<H25年度 新規>

■ 学都「仙台・宮城」サイエンスデイ2013への出展

日時:平成25年7月21日

場所:東北大学川内北キャンパス講義棟

来場者数:約600名

平成25年4月に開催したiCAN'13国内予選の参加チームである山形大学、東北工業大学、宮城県工業高校等の学生たちが制作したアプリケーションを来場者に紹介しました。

また、後日行われた表彰式において、同じく出展団体の1つである仙台高専がMEMSパークコンソーシアム賞を授与し、西澤潤一記念センターを見学いただきました。



(平成25年3月7日現在)

出展関係	名称	日時	内容	会場
	ナノ・マイクロビジネス展	平成25年7月3日(水) ～5日(金)	アカデミックブースでの出展	東京ビッグサイト
	学都「仙台・宮城」サイエンスデイ2013	平成25年7月21日(日)	iCAN'13国内予選参加チームとの共同出展	東北大学川内北キャンパス講義棟
	メッセナゴヤ2013	平成25年11月13日(水) ～16日(土)	東日本復興支援コーナーでの出展	ポートメッセナゴヤ
	セミコンジャパン2013	平成25年12月4日(水) ～6日(金)	東北パビリオンでの出展	幕張メッセ

平成25年度の活動実績(人材育成・技術相談事業)

■ iCAN' 13 国内予選

日時:平成25年4月18日

場所:東北大学片平さくらホール

参加チーム:京都大学、東北大学、東北工業大学、山形大学、
郡山北工業高校、宮城県工業高校、仙台第一高校(2)



国内各地から高校生から大学院生までで構成された計8チームが参加。一般来場者への展示説明及び審査員の前でのプレゼンテーション・デモンストレーションを行いました。審査の結果、郡山北工業高校、宮城県工業高校の2チームが世界大会への出場権を獲得しました。

■ iCAN' 13 世界大会

日時:平成25年6月16日～19日

場所:スペイン・バルセロナ市

参加チーム:郡山北工業高校、宮城県工業高校



世界各地の国と地域から計18チームが参加。日本からは国内予選を勝ち抜いた2チームが参加しました。来場者による投票及び審査員による審査の結果、郡山北工業高校チームが第二位を受賞しました。

■ MEMS人材育成事業

・基礎講座(インターネットスクール)の実施 延べ受講者数:34名

・試作実習受講者数:1名

■ 技術相談事業

・WEB及び展示会等での相談件数:10件



平成25年度の活動実績(ネットワーク活動・プロジェクト創成等)

【ネットワーク活動】

■ 交流会の実施:3回

各種セミナー・フォーラムの開催終了後、参加者相互、講演者等とのネットワーク構築、情報交換のための交流の場を提供し、多数の皆様にご参加いただきました。



【プロジェクト創成】

■ 「アミューズメント×MEMS」マッチングフォーラム

日時:平成25年4月18日

場所:東北大学片平さくらホール

参加者数:106名

各講演者からMEMS技術をはじめとした様々なセンシング技術を内包した活用事例や、ゲームプログラム・玩具等の開発事例を紹介いただき、アミューズメント分野におけるMEMS技術を活用した新製品開発のきっかけづくりを行いました。



【MEMSショールームの運営】

■ 見学者数:271名

MEMSショールームを会場としたセミナーの開催等により、数多くの方に展示デバイスやMEMSの歴史等を見学いただきました。

東北大学試作コインランドリの活動状況



経緯

40年にわたる研究の成果として、東北大学にMEMS分野の技術・ノウハウが蓄積

2010年

財団や企業から継承した設備を活用して試作コインランドリを開始。設備数51台、利用件数380件/年。

2013年

企業からの寄付や外部資金等で設備数は倍の100台以上と充実。

これまでに150社以上の企業が利用。

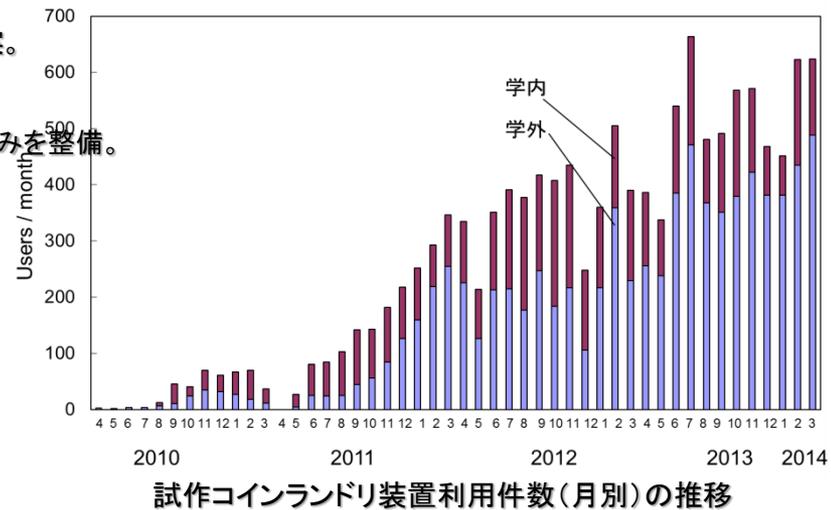
利用件数:6,200件/年、利用料収入:約8,500万円/年に拡大。

研究教育の一環として、企業が本設備を用いて製品を製作・販売するしくみを整備。

第11回産学官連携携働労者表彰経済産業大臣賞 (2013年)「試作コインランドリ～豊富な設備とノウハウを提供するMEMS開発オープンプラットフォーム～」

特徴

- ・利用者の試作結果を蓄積、共有化
- 他の利用者の試作条件にも反映させて試作期間をさらに圧縮
 - 大学の研究・教育へのフィードバック
 - ・時間単位での利用が可能
- ・大学が蓄積する研究成果やノウハウを企業が活用
- 企業が量産段階に移行する前の試作を低コスト・短期間で実施
 - ・技術者の人材育成
 - ・ファブレス企業の支援



平成25年度活動の総括

①情報発信事業

MEMS集中講義、仙台マイクロナノ国際フォーラム、マイクロシステム融合研究会等の各種セミナーには、約600名の方々にご参加いただき、情報発信事業がMEMS産業の裾野を拓げる一翼を担ったものと思われる。

また、ナノ・マイクロビジネス展、メッセナゴヤ2013、セミコンジャパン2013への出展では、東北6県の公設試や企業との連携により、効果的な技術相談や、東北地域のネットワークを強くアピールすることができた。

一方で、会員企業相互の情報交換システムについては効果的な運用までに至っていないとはいえ、今後の課題といえる。

②人材育成事業

・基礎講座に対しては、学内だけでなく企業技術者も含め年間34名の受講者があり、MEMS技術を理解する人材を増やす目的として一定の効果があった。

・試作実習に対しては1名の受講者があり、直面している課題解決に必要な技術を習得してもらうことができた。

・「iCAN' 13」に対しては、国内予選に8チーム、世界大会に2チームが参加した。自ら試作したMEMSデバイスを活用したアプリケーションの展示・発表が行われ、日本の科学技術の将来を担う若手人材の育成に大きな寄与があった。また、6月に開催した臨時幹事会にてiCAN' 14世界大会の仙台開催が決定し、平成26年度はより効果的な若手人材の育成が期待できる。

③技術相談事業

ナノ・マイクロビジネス展やセミコンジャパン2013では一定の技術相談が寄せられ、東北地域のネットワークや強みを活かした課題解決へと繋げることができた。

④ネットワーク活動

各種セミナー・フォーラム終了後の交流会を通じて、MEMS技術研究の第一人者である研究者や企業との活発な意見交換が図られ、MEMS関連技術・研究分野のネットワーク網が拡大した。

⑤MEMS関連産業の集積を促進するプロジェクト創成の検討

テーマを限定したマッチングフォーラムの開催による異業種間の企業の出会いの場や、各種研究会への企業間の共同開発プロジェクトの検討に繋がる案件も出てきており、今後とも各事業を展開していく中でプロジェクトの芽を見出し、MEMS関連産業の集積を促進する事業化、製品化等に向けたプロジェクト創成に繋げていく必要がある。

⑥MEMSショールームの移設・運営

昨年同様、271名と多くの方に見学いただくことができた。また、ショールームを会場としたマイクロシステム融合研究会の開催により、MEMS技術の普及や仙台地域のMEMSの拠点性の向上が促進された。

平成25年度MEMSパークコンソーシアム予算・決算(一般会計)

※平成25年3月末現在

収入の部

項 目	25年度予算額	25年度決算額	摘 要
前年度繰越金	13,789,309	13,789,309	
会費収入	3,600,000	4,250,000	70会員(85口)
人材育成試作実習受講料	1,000,000	0	
雑収入	0	2,092	銀行利息等
合 計	<u>18,389,309</u>	<u>18,041,401</u>	

支出の部

項 目	金 額	金 額	摘 要
広報関係費用	550,000	426,930	パンフレット作成、サーバ管理費 など
出展関係費用	200,000	310,688	「マイクロマシン/MEMS展」出展費
セミナー関係費用	1,000,000	505,810	MEMS集中講義等公開セミナー、交流会
人材育成運営費用	1,000,000	0	試作実習運営経費
iCAN運営費用	3,300,000	2,755,425	iCAN'13国内予選・世界大会経費など
事務関係費用	300,000	58,170	事務局経費、事務消耗品など
会議関係費用	350,000	0	総会経費、MEMS Engineer Forum関係費
MEMSショールーム関係費用	700,000	933,032	MEMSショールーム賃料・光熱水費
特別会計への繰出金	0	100,000	iCAN'14世界大会協賛金等(H24年度入金分(1口)含む)
現金出納分		234,333	
次期繰越金(予備費)	10,989,309	12,717,013	
合 計	<u>18,389,309</u>	<u>18,041,401</u>	

平成25年度MEMSパークコンソーシアム予算・決算(特別会計)

※平成25年3月末現在

収入の部

項目	金額	摘要
前年度繰越金	1,000	雑収入(口座開設のため)
一般会計口座より振替	100,000	協賛金(H24年度に一般会計で受入、特別会計に口座振替)
協賛金	1,499,738	CAN'14世界大会協賛金
雑収入	99	銀行利息
合計	<u>1,600,837</u>	

支出の部

項目	金額	摘要
合計	<u>0</u>	
時期繰越金		<u>1,600,837</u>

※iCAN'14世界大会協賛団体・企業様

(一財)青葉工学会振興会様(5口)、(財)みやぎ産業科学振興基金様(3口)、(株)コーテック様(1口)、オムロン(株)様(1口)、(株)メムス・コア様(1口)、(株)アドバンテスト研究所様(1口)、ローム(株)様(1口)、(株)リコー様(1口)、リコージャパン(株)様(1口)

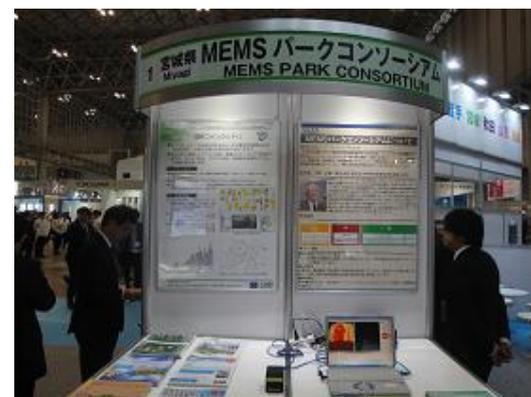
MEMSパークコンソーシアム 平成26年度活動方針及び予算案



iCAN' 13世界大会



学都「仙台・宮城」サインデ 2013



セミコンジャパン2013

MEMS
PARK CONSORTIUM

平成26年度の活動方針

【活動方針】

これまで行ってきた情報発信・人材育成・技術相談・ネットワーク活動等を更に充実していくとともに、**iCAN'14国内予選・世界大会の仙台開催により、若手人材の育成を強力に推進していくほか、提携団体との連携深化や異分野融合のためのマッチングフォーラムの開催により**、MEMS技術を活用した新規プロジェクト創成などに結びつけていきます。

①情報発信事業

MEMS集中講義や他機関との連携による効果的なセミナーを実施し、MEMS技術の高集積化や複合化を積極的に促すとともに、WEBサイト、メールマガジン、Twitter等の広報ツールを活用し、会員企業様への情報発信の更なる充実を図ります。

また、各県公設試や企業と連携の上、ナノ・マイクロビジネス展等への出展を継続し、東北地域のものづくりネットワークを広くアピールします。

②人材育成事業

基礎講座・設計実習・試作実習とも希望に応じて実習開始時期を通年とし、より企業ニーズに即した形で会員企業様等が自ら企画したデバイスの試作実習ができるよう、人材育成事業を実施します。

また、iCAN'14世界大会・国内予選の仙台開催により、高校生から大学院生等の次世代のMEMS技術を担う若手人材育成を強力に推進します。

③技術相談事業

展示会での技術相談のほか、WEBや東北地域の関係機関によるネットワークを有効に活用して迅速な課題解決を図ります。

④ネットワーク活動

セミナーと連動した交流会の実施により、会員同士、講師の方々との情報交流を促進し広範なネットワーク形成を支援します。

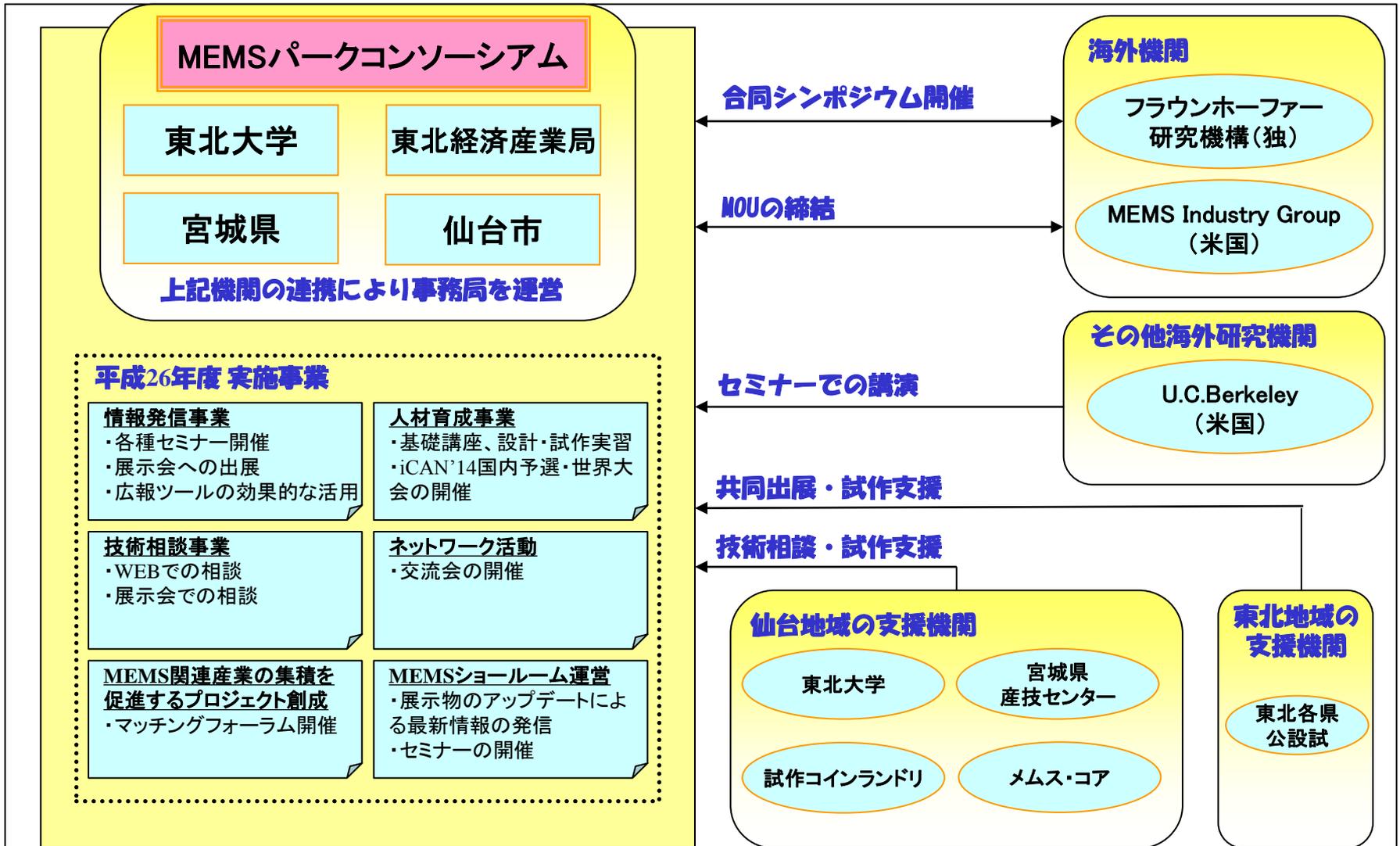
⑤MEMS関連産業の集積を促進するプロジェクト創成の検討

MEMSに親和性の高い分野をテーマとした「〇〇×MEMS」マッチングフォーラムを開催し、異分野融合のためのマッチングの機会を増やすとともに、提携関係にある団体と会員企業との連携を深化させ、新規プロジェクト創成に向けた支援を行います。

⑥MEMSショールームの運営

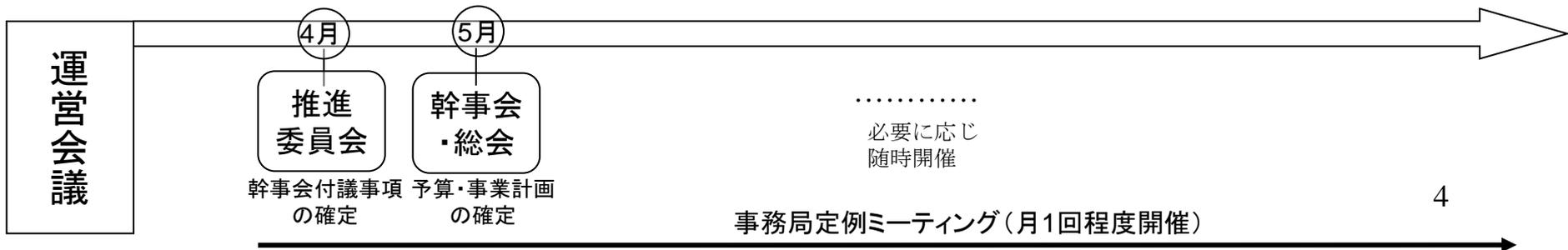
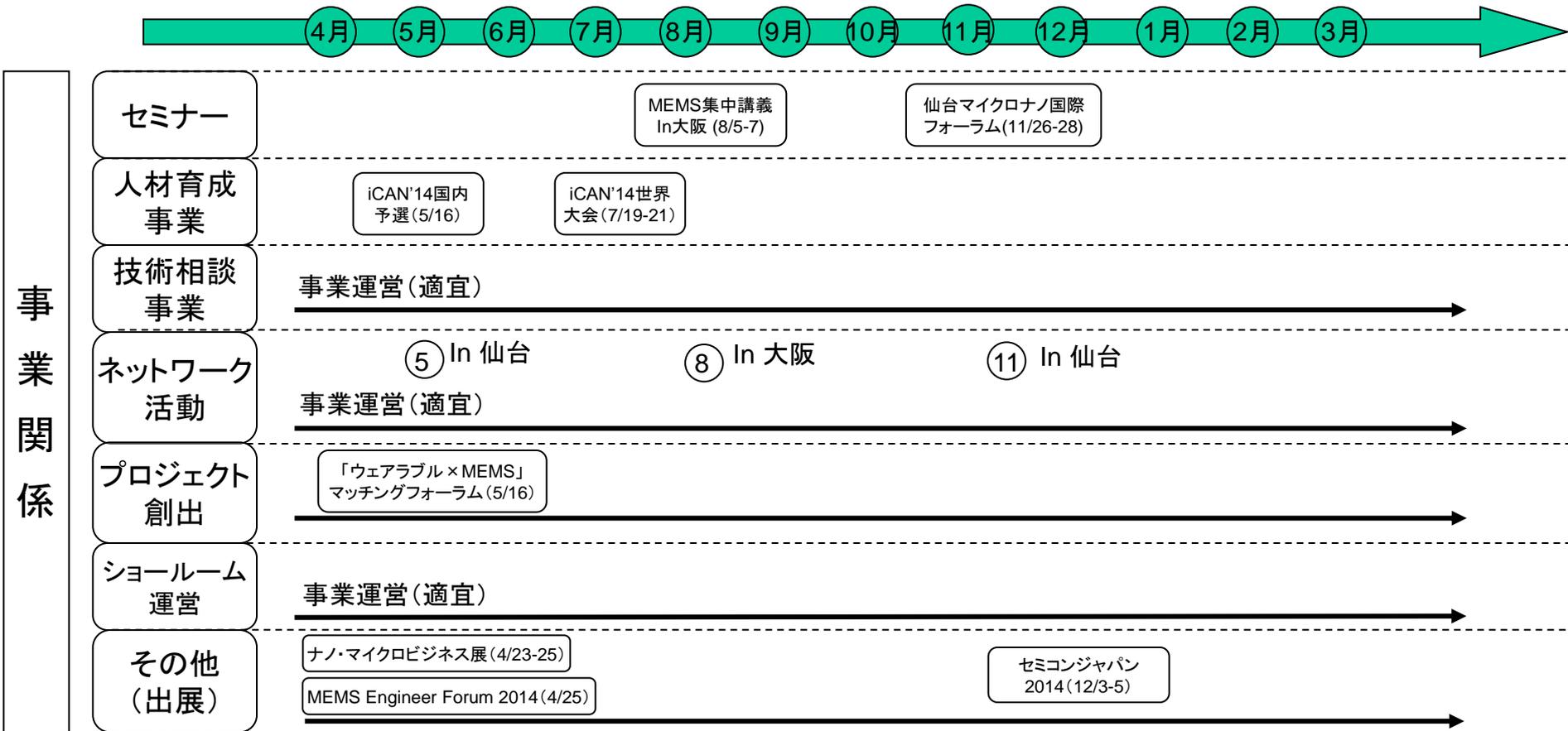
各種展示物のアップデートによりMEMS分野における最新情報を発信していくほか、ショールーム内でのセミナーを定期的に行うことにより、仙台地域におけるMEMSの拠点性をアピールします。

MEMSパークコンソーシアム 活動概要



国内外の関係機関と連携し、MEMS技術を活用した人材育成や新規プロジェクト創成を推進いたします

平成26年度 MEMSパークコンソーシアム 年間スケジュール



MEMSパークコンソーシアム 26年度事業 (I) 情報発信事業

・セミナーの開催

MEMS技術に関する様々なテーマを設定して、MEMS技術の普及を図ります。主要イベントは以下のとおりです。

①MEMS集中講義

マイクロマシニングの基礎概論からアプリケーションへの応用など、MEMS技術について3日間集中的に講義を行います。(8月5日～7日、大阪)

②仙台マイクロナノ国際フォーラム2014

仙台市・フラウンホーファー研究機構・東北大学マイクロシステム融合研究開発センター等との共催により、研究者・技術者の皆様からマイクロナノ分野における最新研究成果を発表いただきます。
(11月26日～28日、仙台)

③マイクロシステム融合研究会

東北大学マイクロシステム融合研究開発センターにおける最新の研究内容をご紹介します。

※この他にもセミナーの企画を行います。

会員の皆様からのテーマの提案をホームページにて受け付けています。

希望するテーマがございましたら、ホームページよりご提案ください。

・WEBサイト、メーリングリスト、Twitter等を活用した情報発信の充実

各種広報ツールを最大限に活用し、会員企業様への情報発信の充実を図ります。

※ホームページ上で、会員の皆様からの情報をお待ちしております。

会員企業様の新製品情報、会員企業様が主催するセミナー等がございましたら、ご投稿ください。

・ナノ・マイクロビジネス展等への出展

各県公設試やものづくり企業との連携により、東北地域が有する微細加工技術や広域ネットワークをアピールします。

MEMSパークコンソーシアム 26年度事業 (Ⅱ)人材育成事業

・MEMS人材育成講座

MEMS技術に関する基礎的な講義及びプロセス技術の概要についてスクーリングを行います。併せて試作プロセス実習を行うことで、MEMSデバイス製造の一連の流れを学習するとともに、デバイスの試作開発を行います。



インターネットスクール



容量型3軸加速度センサの試作例

※基礎講座、設計実習、試作実習とも、ご要望に応じていつでも受講することが可能です。

講座名	対象	受講料	講座内容	所要時間
基礎講座	初心者(工学系大学卒業程度)から、既にMEMSに携わっている技術者等	無料 (会員・非会員問わず) ※インターネットに接続できる環境が必要です。	MEMS開発に必要な企画, 設計, 試作, 評価に関わる基礎知識を習得する。併せて, MEMSのアプリケーション, 事業化に必要な技術経営についても学ぶ。インターネットスクールを利用して受講する。	20コマ (41時間)
設計実習	既にMEMSに携わっている技術者等	実費を算定して徴収します。	試作するデバイスを企画した後、MEMS専用設計解析ソフトウェアを利用して設計を行い、デバイス解析、プロセス設計等の能力を養う。	2日間～ 10日間
試作実習	既にMEMSに携わっている技術者等	実費を算定して徴収します。	自ら企画したデバイスについての試作を行う。4インチのプロセスラインを用い、マンツーマンに近い指導を行い、装置の原理、使い方、プロセスのノウハウを学習する。試作したデバイスを評価し、レポートにまとめる。	約3ヶ月

MEMSパークコンソーシアム 26年度事業

(Ⅱ)人材育成事業(国際ナノ・マイクロアプリケーションコンテスト)

・第5回国際ナノ・マイクロアプリケーションコンテスト(iCAN'14)国内予選の開催

高校生・大学生等を対象とした、MEMSデバイスを用いたアプリケーションを提案、試作する国際コンテストの国内予選を開催します。

(5月16日:東北大学片平さくらホール)

学生自らの発案によりアプリケーションを製作することにより、ものづくりに対する興味を喚起し、日本の科学技術の将来を担う若手人材の育成を行います。

参加チーム:京都大学(2)、東北大学(3)、東北工業大学(1)、一関工業高専(1)、
仙台第一高校(1)、郡山北工業高校(1)、仙台城南高校(2)の計11チーム
※()内は参加チーム数



・第5回国際ナノ・マイクロアプリケーションコンテスト(iCAN'14)世界大会の開催

<H26年度 新規>

5月の国内予選に続き、仙台にてiCAN'14世界大会を開催します。世界大会には、世界各地の国と地域から、約20チームが参加します。なお、今回の世界大会は「マイクロ・ナノテクノロジーの防災・減災への応用等」をテーマとしてアプリケーションを募集し、今後の防災・減災に資する新製品開発の契機とするとともに、科学のプロセスを子どもから大人まで体感できる体験型イベント「学都「仙台・宮城」サイエンスデイ2014」と同時開催することで、相乗効果による人材育成事業のアピールを行います。

日程:7月19日~21日

場所:東北大学川内北キャンパス講義棟、東北大学川内萩ホール



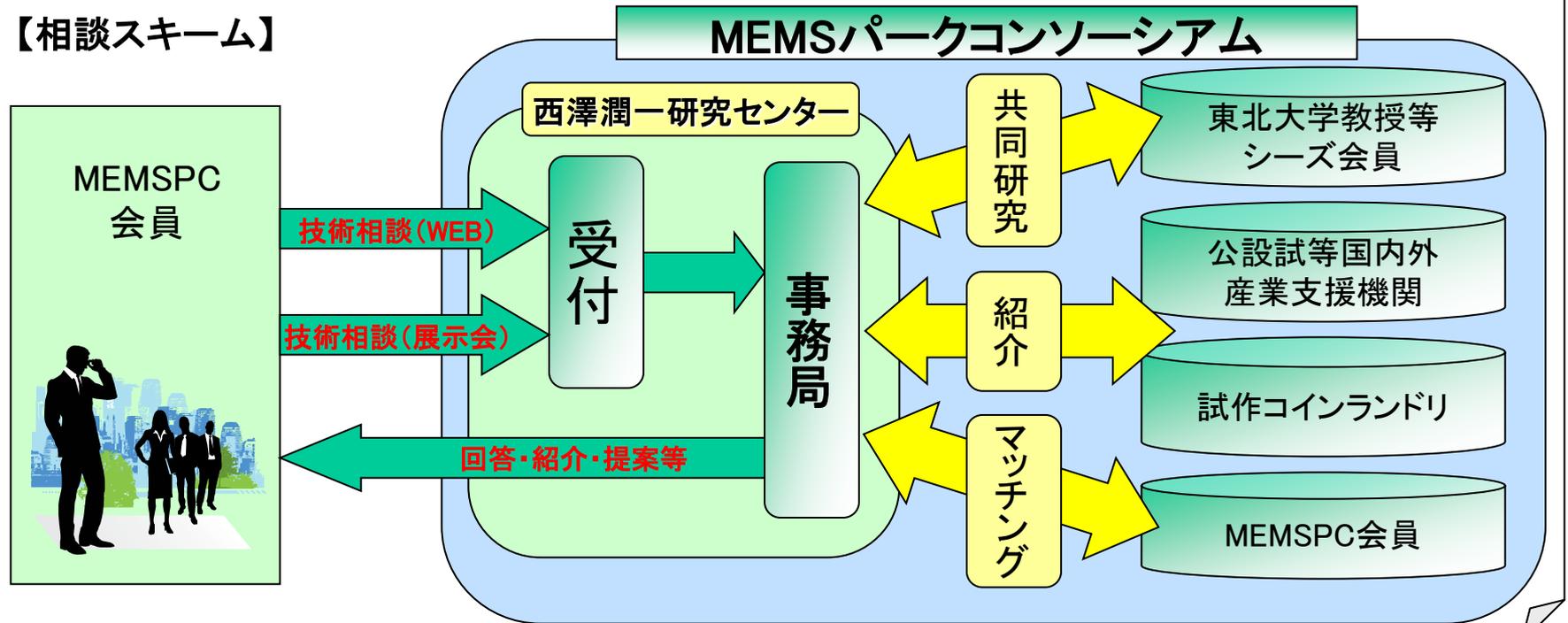
MEMSパークコンソーシアム 26年度事業 (Ⅲ) 技術相談事業

・MEMSパークコンソーシアム技術相談

会員の皆様からの技術的な相談については、ホームページにて随時受け付けている他、展示会場でも受け付けております。受け付けた相談については、東北大学・東北各県公設試・行政等の関係機関のネットワークを効果的に活用し、迅速かつ的確な回答を行います。

MEMSパークコンソーシアムでは東北大学との連携のもと、試作開発拠点(「MEMS試作コインランドリ」となる西澤潤一記念研究センター)に関する情報を随時会員メールにて配信していきます。

【相談スキーム】

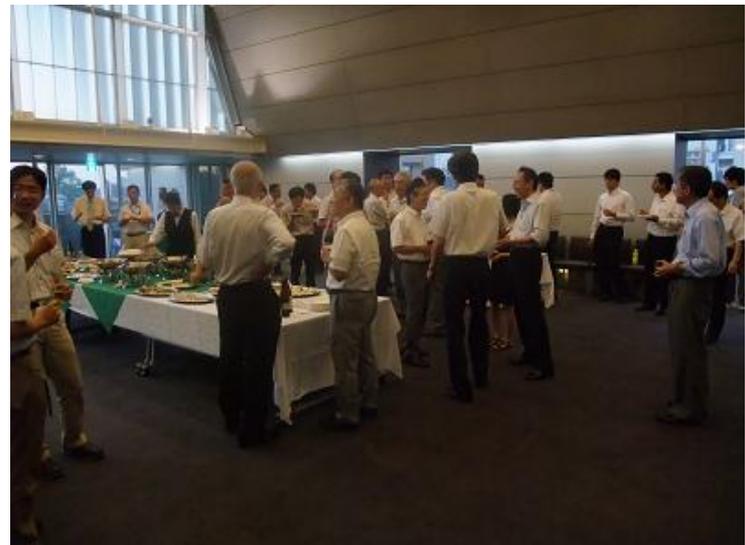


MEMSパークコンソーシアム 26年度事業 (Ⅳ)ネットワーク活動

・交流会の開催

会員相互、講師の方々とのネットワーク形成及び情報交換の場として、各種セミナー・フォーラム等の終了後、交流会を開催します。軽食を取りながら、講師の先生や様々な企業の方々との意見交換を行い、事業連携や共同研究等に繋がる場を提供します。

※会費一口につき、各会員一回一名の参加が可能です。



交流会の様子

MEMSパークコンソーシアム 26年度事業 (V)MEMS関連産業の集積を促進するプロジェクト創成

・「〇〇×MEMS」マッチングフォーラムの開催

MEMS技術を活用した付加価値の高い新製品の開発が期待される分野にテーマを絞ったフォーラムを開催し、MEMS側の企業技術者・大学研究者とのマッチングを図ることにより、MEMS技術を活用した新規プロジェクトの創成に向けたきっかけづくりを行います。

「ウェアラブル×MEMS」マッチングフォーラム

日程：平成26年5月16日(金)

場所：東北大学片平さくらホール



過去のマッチングフォーラムの様子

MEMSパークコンソーシアム 26年度事業 (VI) MEMSショールームの運営

・MEMSショールームの運営

東北大学西澤潤一記念研究センター内に設置しているMEMSショールームについて、ポスター・デバイスなど各種展示物を随時アップデートすることで、国内外の大学・研究機関・企業の有するMEMS技術・情報を幅広く発信していくとともに、ショールームを会場としたセミナーの定期的な開催により、仙台地域におけるMEMSの拠点性を国内外に強くアピールします。



MEMSショールーム

平成26年度MEMSパークコンソーシアム予算案(一般会計)

※平成26年3月末現在

収入の部

項 目	26年度予算額	25年度決算額	摘 要
前年度繰越金	12,717,013	13,789,309	
会費収入	4,250,000	4,250,000	70会員(85口)
雑収入	0	2,092	銀行利息等
合 計	<u>16,967,013</u>	<u>18,041,401</u>	

支出の部

項 目	26年度予算額	25年度決算額	摘 要
広報関係費用	450,000	426,930	パンフレット作成、サーバ管理費 など
出展関係費用	350,000	310,688	「ナノ・マイクロビジネス展」出展経費など
セミナー関係費用	1,000,000	505,810	MEMS集中講義、「〇〇×MEMS」マッチング フォーラム開催経費など
iCAN国内予選運営費	900,000	2,755,425	iCAN'14国内予選関係経費
事務局関係費用	100,000	58,170	事務局経費、事務消耗品など
会議関係費用	300,000	0	MEMS Engineer Forum関係費など
MEMSショールーム関係費用	700,000	933,032	MEMSショールーム賃料・光熱費など
特別会計への繰出金	2,000,000	100,000	iCAN'14世界大会関係経費
現金出納分		234,333	
予備費	11,167,013	12,717,013	
合 計	<u>16,967,013</u>	<u>18,041,401</u>	

平成26年度MEMSパークコンソーシアム予算案(特別会計)

※平成26年3月末現在

収入の部

項 目	26年度予算額	25年度決算額	摘 要
前年度繰越金	1,600,837	1,000	
一般会計からの繰入金	2,000,000	100,000	H24年度協賛金
協賛金・助成金	1,000,000	1,499,738	H25年度協賛金
雑収入	0	99	銀行利息等
合 計	<u>4,600,837</u>	<u>1,600,837</u>	

支出の部

項 目	26年度予算額	25年度決算額	摘 要
報償費	350,000	0	審査員・通訳者謝金 など
旅費・宿泊費	500,000	0	日本代表チーム旅費・宿泊費など
事務用品費	50,000	0	名札など
食糧費	1,320,000	0	レセプション経費など
制作委託費	900,000	0	記念品・各種広報物制作費など
使用料・賃借料	1,280,000	0	会場使用料・バス借上料など
予備費	200,837	0	
合 計	<u>4,600,837</u>	<u>0</u>	